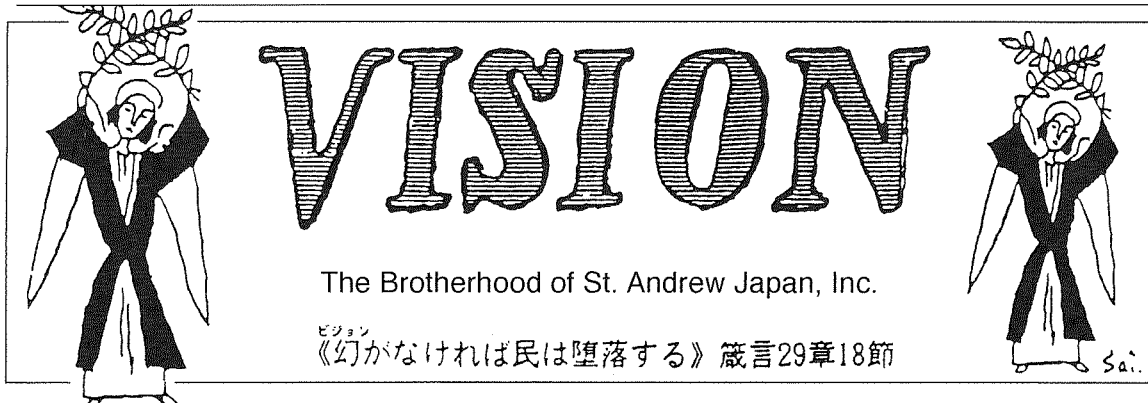




一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
日本聖公会東京教区会館内
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
<http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org>
mail.bsa@nssk.org

BSA 会報《季刊発行》
編集発行人 松田 正人
印刷所 株式会社スコーポレーション



「われ山に向かい目をあげん、 わが助けはいずこよりきたるべきぞ」

執事 テモテ 鈴木 育三 (詩三二篇)

語りかける姿を、今でも鮮明に
思い起こします。

この度、機関誌『VISION』
に寄稿を依頼されたのを機に、
立教大学出版会発行『キープへ
の道』昭和史を拓いたポール・
ラッシュュ(エリザベス・アン・ヘ
ンフィル著、松平信久・北條鎮
雄訳)を熟読する機会が与えら
れました。

「磯山聖ヨハネ教会」、仙台を
経て北上し「青森聖アンデレ教
会」に至り、松が丘保養所の
「聖ミカエル教会」を訪問。そ
の後、一ノ関より大船渡線に乗
り換え折壁駅で下車し、最終
目的地「室根聖ナタナエル伝道
所」に到着。

ここには、日本聖徒アンデレ
同胞会創始者ポール・ラッシュュ
の生涯が時代背景と共に克明に
描き出されています。「一九二七
年に米国の聖徒アンデレ同胞会
の支部として、十二人からな
る一つの支部が立教に設立され
た」と記されています。

ここをベースキャンプ地とし
て、地域の子供達を中心に夏期
学校をはじめ、キャンプファイ
ヤーや室根山ピクニック等の交
流会を開催。その他諸々の活動
を展開しました。

小生が初めてポールさんに出
会ったのは、清泉寮で行われた
立教高校新生のオリエンテー
ションプログラムに参加したと
きでした。その時のスピーチの
内容は記憶していませんが、私
たち一人ひとりを指さしながら
「You! You! and each of you!」と

小生にとって忘れ難いのは、
入部早々上級生の指示に従って
「アメリカ文化情報センター」
で16mm映写機操作の免許を取
得。

映写機一式を借り出して、上
映会をキャンプ地ごとに開催し
ましたが、時折り上映中にフィ
ームが絡まったり、ヒューズが
とんだりしてトラブルに苦労し

ました。
ある晩上映会を終え、重い映
写機を担いで真つ暗な夜道を
下っていた時、突然足が滑って
崖下の田圃に落ち込み腰まで浸
かり、助け出されたこともあり
ました。

今夏の酷暑にも拘らず、若者
たちが次々に新生会の高齢者福
祉施設を訪れ、ここ数年コロナ
禍の間途絶えていたボランティア
アワークキャンプが再開されま
した。

参加者の多くはキリスト教関
係学校小中高の児童・生徒・大
学生たちです。さらに、聖公会
神学院神学生の臨床牧会実習を
実施することができました。
彼ら彼女らは、ここで人生の
先輩方との出会いを通して与え
られた気づきと学びを携えて、
学舎へと戻って行きました。

結びに、戦後八十年を経た今
日、青春時代に清里KEEPを
舞台に過ごした多くの学友・知
人との出会いは忘れ難いものが
あります。

当時「ボランティア」との言
葉は、あまり使われていなかった
頃に「祈禱と奉仕」をモッ
トとしたBSAワークキャンプ
の思い出の一齣を紹介しました。
こうした活動で培われた経験
は、今も小生の人生航路の折々
に通奏低音のごとく響きを発し
続けています。それは互いの賜
物を用いて託されたミッション
を仲間と共に遂行していく協働
性と献身奉仕の精神です。

最近「Service Learning」なる
言葉を耳にしました。その背景
には、キリスト教教育において
「ボランティア体験学習」の重
要性を早くから気づいていた先
達によって培われ継承されてき
た伝統があるからでしょう。

間もなく、「日本聖徒アンデ
レ同胞会」(BSA)設立二〇〇
周年を迎える事を覚えて、創業
者ポール・ラッシュュ博士の偉業
と共にそのスピリチュアルな
パッション、先駆者スピリット
と感銘深い感化力をもって幾多
の青少年が育まれたことを想起
し、敬服の念をもって感謝致し
ます。

(北関東教区退職執事 特任、
社会福祉法人新生会常務理事)

公 示

一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会第117総会を左記の
通り開催します。

2025年11月4日(火)
BSA会長 松田正人

記

開催日: 2025年11月29日(土)

場 所: 市川聖マリヤ教会

千葉県市川市八幡 3-19-11

JR総武線本八幡駅 徒歩6分

都営新宿線本八幡駅 徒歩3分

京成電鉄本線 京成八幡駅 徒歩4分

同封の議案資料にお目通しの上、返信ハガキにより書面での
意見表示をお願いいたします。

記念感謝礼拝(聖堂) 13時

聖餐式

再宣誓式

第117回総会(ホール) 14時半

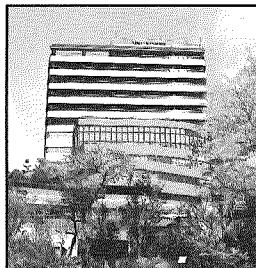
第一号議案: 2026年度事業活動計画(案)承認の件

第二号議案: 2026年度会計収支予算(案)承認の件

以上

総会終了後 ホールにて懇親会を催します。

別紙をご覧ください。



創立の恩人 ポールラッシュュ

学校法人メイウシヤマ学園

ハリウッド大学院大学
ハリウッド美容専門学校

〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ

☎0120-083394 www.hollywood.ac.jp

BSA100周年に向けて

(連載第11回)

「日本聖徒アンデレ同胞会の足跡」
70年誌抄録⑤

【清里に指導者訓練キャンプ場建設決定・「清泉寮」と命名】

指導者訓練キャンプ場建設計画の基本構想が定まった後、1937年(昭和12年)米国に「在米日本聖徒アンデレ同胞会後援会」が発足し、その本部がシカゴ市に設置された。会長にはジェームズ・ホーテリングが就任。

そして同年、ポール・ラッシュと関口正吾(立教大学BSA会員)が先遣隊となり、こだわりである「富士山の見える土地」を求めて富士五湖方面を探索、日本聖公会ヘーズレット主教や木村重治立教大学長・根岸由太郎教授、BSA金子忠雄・宅間聖智らと合流して山梨県庁で直接交渉を行ったが芳しい成果が得られなかった。しかし、宿泊した甲府・談露館旅館の中沢当主の勧めがあり、当時開業したばかりの小海線で八ヶ岳・清里へ到達。自然豊かな広大なロケーションに感動したポール・ラッシュは、ついに「BSA指導者訓練キャンプ場」の建設予定地を山梨県北巨摩郡清里の地に決定した。

施設名称については、立教大

学教授・チャブレンだった高松

孝治司祭らが現地清里を視察したのち、ポール・ラッシュはじめ

ブランスタッド教授、小川寛一、金子、宅間らで協議した結果、

立地が「清里」から山に入り途中から「大泉」の所在となる

ため、双方の村名の文字を取って「清泉寮」とすることに決定。

清泉寮とは「ピュアスプリング」清らかな泉が湧き出るキャンプ」という意味であるという金子の説明に、ポール・ラッシュも喜んで同意したのであった。

一方、八ヶ岳・清里にキャンプ建設が決まった頃、なかなか米国の同胞会後援会から建設費の送金がないため、ポール・ラッシュは「五か年計画趣意書」として「MEN」二千字を作成し、急遽渡米して熱心な募金活動を行い、その結果、米国側から建設費用として当面必要な2万ドルの送金を約束させていたのであった。

(つづく)

※文中一部敬称略および

ポール・ラッシュ伝一部引用

2025年BSA

研修旅行レポート

「岡谷聖バルナバ教会、あぶらむの里訪問記」

あぶらむの里訪問記

松平謙次(理事)

今年度の研修ツアーは長野県の岡谷聖バルナバ教会と、岐阜県のおぶらむの里の2箇所を訪問する2泊3日の(8/26、28)の旅で、BSA会員と以外の方を含めた19名が参加した。

岡谷の教会は1928年、製糸業で栄えたこの地に、過酷な労働に疲れ果てた女性行員の心と体を癒すために建てられた。そのために聖堂には暈が敷かれ、そこに脚を投げ出したり寝そべったりすることも自由であつたという(2019年国の登録有形文化財指定)。長く北海道教区主教、日本聖公会首座主教として働かれた植松誠主教が定年後、ここに夫人と共に定住し牧会されている。定年後は田舎の教会で働きたかつたという夢が叶って、主教さんがお元氣そうで実にのびのびと、また嬉しそうにそうに働いておられる様子をうかがい知ることが出来、我々もたいへん嬉しく思い、この教会を後にした。この後は貸切バスで約2時間の道のり、岐阜県の飛騨山中にあるあぶらむの里を目指す。



植松誠主教を囲んで

あぶらむの里、あぶらむの会を主宰する大郷博司祭は明治学院大学在学中からすべての長期休暇を沖縄のハンセン病療養施設・愛楽園でボランティアとして過ごしてきた、卒業後は立教大学のチャブレンとして8年間務めることになり、この間、何度も学生を率いて愛楽園、フィリピンで、さらにはネパールでワークキャンプを展開するに至り、多くの学生たちに多大な影響を与えた。これらの経験から大郷司祭は、人生という旅路の良き旅人を育てる仕事「神の呼びかけに従い、多くのものを捨てて、未だ見ぬ地に向けて旅立つたアブラムに倣う」を始めるため、日本聖公会司祭を休職するという大きな決心をする(これ以降、ご自身を脱藩司祭と称するようになる)。そこには多くの迷いや逡巡があつたであろうが、夫人の育さんの強い後押しがあつたことも大きな力になったようだ。この後飛騨に移り、職

業訓練校で木工を学ぶ。そして無一文ながら何と約6000坪もの広大な土地を手にすることが叶う。そしてその地に古民家を移築した旅人の宿が1990年完成した(今回のツアーでも宿泊した)「人生は旅、私たちは旅人」をモットーに掲げるあぶらむの里は、木工所で教会の各種備品、聖具などを製作する傍ら、家庭裁判所から委託を受けて心に傷を負った数多くの少年たちと農作業などを行いがら半年ほどの共同生活を送ったり、世界各地から訪ねてくる旅人を受け入れたりしてきた。驚くことに敷地内にある木工所を始めとするすべての建造物は大郷司祭と手助けの人たちによるものであり、宿泊所のベッドなどの家具類も全部手作り。近所の大工さんに手助けを求められるほどの腕前になるが、手当は一切受け取らない、代わりに技術や工法を盗ませてもらおうという約束だったという。

食事に供される米、野菜も無農薬・無添加の自作の作物である。(残念ながらお酒までは手が回らなかったよう)。いま、大郷司祭が最も力を入れているのは自らもハンセン病を患いながらも筆舌に尽くしがたい艱難の後に愛楽園を創設した伝道師・青木恵哉(けいさい)師のドキュメンタリーを製作すること、施設内の旧木工所を利用し

★一般ご家庭の引越し 事務所引越
★オフィスの引越 のエキスパート!!
★フロアーの移動
★各種展示会セッティング etc...

Grec 株式会社ギンテック

港区港南3-4-12

0120-223-008
TEL 3471-5313

ホームメイド・チーズケーキの店



目黒区上目黒1-18-1
TEL 3793-3503



株式会社
立教企画

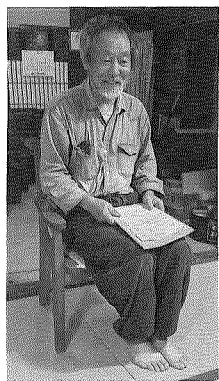
学校業務受託、人材派遣、施設整備等
承ります。

豊島区西池袋3-34-1 立教大学17号館
TEL: 03-3985-4770
https://www.rikkyo-planning.co.jp



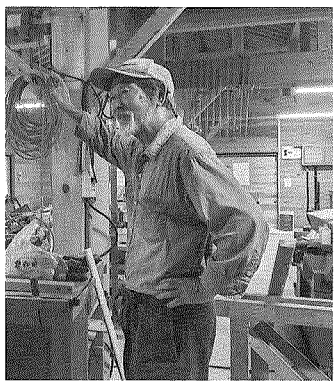
St. Luke's
会員制健康クラブ
聖路加フレンズ

☎ 03-3541-1056
受付時間 平日9:00~16:00
https://www.stlukes-friends.com/



てその記念館を作ることだとい
う。このような深い感銘を与え
られる話を2回の「講話」の時
間に聴かせて頂いた。

あぶらむの里には多くの支援
者がいるといっても日常的には
夫人との2人生活。アブラハム
は175歳まで生きたとされる
が、大郷司祭も今年79歳にな
る。勿論更なる長寿を祈るけれ
ど、アブラハムほどは無理そう。
あぶらむの会が旗揚げされた
1987年から間もなく40年、
広大な敷地内の諸施設、諸活動
を今後、どのように維持・継続
していくかが大きな課題であろ
う。大いに関心を寄せながら、
我々なりにできる支援をしてい
きたいと思う次第である。



あぶらむの里を訪ねる旅に

参加して

今年のBSA研修ツアーは
「あぶらむ」を訪ねることに決
まったから、山田も参加しない
かと松田会長に誘われ、賛助会
員であります、私もこのツ
アーに参加させて頂きました。

一般社団法人あぶらむの会は
「人生は旅、人は旅人」と捉え、
人は送り出された場で、与えら
れた環境下で、それぞれの人生
を歩むものですが、その道は平
たんとは限らず、山あり谷あり
の道であるため、苦難や疲れを
伴うところ、そのような旅人に
休息する宿を提供するという役
割を担っています。実際、あぶ
らむの宿は分岐点や行き止まり
にぶつかったとき自らの態勢を
整える宿、人々のリトリートの
場として、また、道をそれてし
まった若者の軌道修正の場とし
て、非行に走った若者たちを家
庭裁判所から預かり、健全な少
年として旅立たせる働きを担っ
てきました。家裁委託児童の社
会着地率が少年院のそれに比

べ、格段に高いことを見るにつ
け、これぞ教会の働きと思えま
す。あぶらむの働きは、表看板
に十字架こそ掲げておりません
が、世の中で、生き難くされて
いる人に寄り添い、支援すると
共に、自立の道に送り出すとい
うことで、ガリラヤにおける主
の宣教に通じるものと考えてい
ます。

また、今回の旅を通して、こ
の働きは「祈りと奉仕」をもつ
て歩むBSAの精神と軌を一に
するもので、教会内領域から、
一歩社会に踏み出してそこに生
きる人たちに仕え、奉仕する活
動という点で同様であることを
あらためて気づかされました。

いままでの教会では、信徒は
聖職者の庇護の下、養われる羊
として受動的立場に甘えてきま
したが、聖職者の減少、信徒の高
齢化という教会の厳しい状況に
立ち至り、信徒もキリストの共
同体の部分を構成するものとし
て、自分たちにできることでそ
の働きに参与することが今こそ
求められているように思われま
す。その観点からも同労者とい
えるBSAとあぶらむの会は、
互いに協力関係を深めて社会に
あつて奉仕活動を担い、人を育
てる信徒ミニストリーを展開し
てゆきたいと思うものです。
(渋谷聖公会聖ミカエル教会
信徒、あぶらむの会理事
パトリック 山田益男)

ビジョン広場 わたしの夏

長崎の思い出

盛岡聖公会支部長

ルカ 赤坂 徹

私は1944年(昭和19年)
6月、終戦の1年前に生まれ、
母乳不足を甘酒で補った、と聞
いています。

戦争で飢餓状態にある子ども
達のが心配です。

8月の原爆投下に近い主日に
聖歌422番「長崎の空は足も
とからはじまっている」を歌い
ました。

コロナ感染禍前に訪れた被爆
地長崎の思い出を紹介します。

平和公園電停で市電を降り、
爆心地から平和公園を歩いて平
和記念像、そして如己堂(によ
こどう)・永井隆記念館を訪ね
ました。

永井先生は長崎医科大学で被
爆され、夫人は自宅で爆死され
ました。カトリック教徒の先生
は、2畳1間の庵を如己堂と命
名し、二人の子供を残して、43
歳で昇天されました。

浦上天主堂を見て、長崎原爆
資料館では広島市で見られたよ
うな大きな被害を実感しました。
原爆を取りに使うような政治
家には原爆資料館で原子爆弾の
恐ろしさを知ってほしいと思い
つつ旅を終えました。

この夏に気づかされたこと

インマヌエル新生教会支部長
ステパノ 丸茂晴彦
された次第です。

本場に今夏は連日猛暑続きで
心身共に疲弊してしまう毎日で
した。

中高生大会

九州教区 久留米聖公会

瀧内 南美

さて、私の今年の夏と言えば、
多彩な日々でした。

と、申しますのも私はこの夏、
新型コロナウイルスに感染して
しまい、高熱と咳とで苦しみ救
急外来で検査の結果、コロナだ
と判明し1週間の入院を余儀な
くされました。

その後治療の効果も出て熱も
徐々に下がり、看護師の手を借
りて車いすで病院内を見渡すと
本場に色々な患者さんがいらつ
しゃることがわかります。

中でも小さなお子さんが入院
をされている姿を見ると、自分
が何も手を差し伸べてあげること
ができないもどかしさを感じると同
時に、私は聖書のある箇所を思い
出します。それは、マタイ、マル

コ、ルカのそれぞれの福音書が出
てきますが、群衆の中で悪霊に取
りつかれた人や、らい病の人など
がイエスさまに「治してください」
と願う姿です。多分その光景は、
本場にイエスさまはきくと助けて
くださる、という純粋な心を持つ
て願い求めているからこそ、イエ
スさまの心を動かし愛を持って癒
されたことだと思っています。

私は、大人になればなるほど
様々な知恵が働き、その純粋さ
が失われていく感じがすること
を、今回の入院で改めて気づか
された次第です。

清里高原だより 清泉寮ニユース

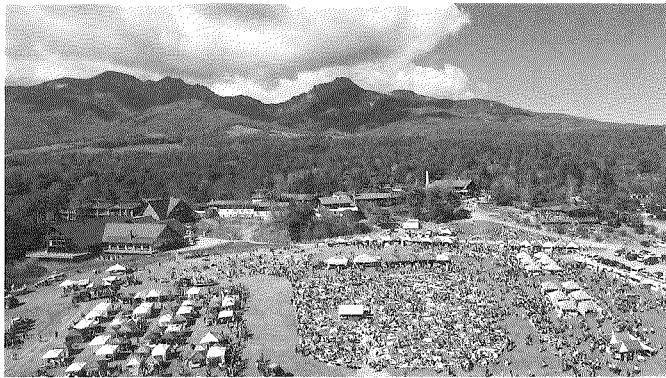
ポール・ラッシュ祭 6年ぶりに復活

6年ぶりに復活開催

ポール・ラッシュ祭は、2019年以來6年ぶりに、10月18日・19日の2日間、清泉寮前広場に開催されました。

実は、入稿の関係でこの原稿を書いているのは、開催前の9月末です。実際にどのようなお祭りになったのか、分からないままにお伝えすることになりましたが、開催に至るまでの思いと、今後も継続していくという決意をご関心の高いと思われる会員の皆様とも共有させていただくことをお許しください。

(画像は2019年のものです)



ポール・ラッシュ祭はハケ岳カンティフェアの歴史

ポール・ラッシュ祭は、ハケ岳カンティフェアは、ポール・ラッシュによって、1954年8月に開催した郡(ハケ岳カンティ)の農民のお祭り「第一回ハケ岳高冷地家畜共進会」として始まりました。

翌年の第二回からは、「農業および文化・芸術・スポーツによる地域振興」「国境や地域を超えた人々の出会いと交流の場」をコンセプトにした8月お盆の時期のお祭りとして定着し、1973年まで20年間毎年開催されました。

その後しばらく中断しましたが、ポール・ラッシュ没後の1988年に、ポール・ラッシュの来清(清泉寮創設)50周年を記念して、名称も新たに「ポール・ラッシュ祭ハケ岳カンティフェア」として、以下のことを目的とした新たな形で再開されました。

ポール・ラッシュ博士の業績を顕彰・継承し、その崇高な精神に学ぶ。

豊かな収穫に感謝する。
国際交流による地域振興をはかる。

その後、コロナ禍により2019年に中断するまで、32回に亘って開催されました。

コロナ禍が一応の収束となった後も、キープ協会を始め地域の疲弊もあり、開催の決断がでないまま、中断の期間が長引いてしまいました。

しかし、2025年を迎えるにあたり、「ポール・ラッシュ来日100周年」という記念すべきこの年を逃したら、ポール・ラッシュ祭は二度と復活できないのではないかと危機感が、関係者間で共有されることとなり、今回の6年ぶりの復活に繋がりました。

今回の復活にあたっての思い
今回の復活にあたっては、こうした伝統を継承するとともに、ポール・ラッシュが遺してくれたものを次世代に引き継ぎ、このお祭りが清里はもとより地域の発展の新たな第一歩になるとの思いを込めて、以下の基本方針を掲げて開催いたしました。

①ポール・ラッシュとその精神の顕彰と継承

ポール・ラッシュが実践した清里開拓と国際交流の精神を広く発信し、次の世代に継承する。

②地域の宝物への感謝
地域の豊かな自然と人々の働きの恵みである農産物と誇れる観光資源の魅力を発信する。

③地域コミュニティの活性化
地域・世代を超えた人々の交流の場を創出する。

④持続可能な運営
地域の住民・団体・行政としっかりと連携して、それぞれに自分たちのお祭りとして愛され、長く受け継がれていくお祭りを創る。

失敗を恐れず未来に継続

これを書いている時点では、今年のポール・ラッシュ祭がどのような出来栄であったかは分かりません。しかし当然のことながら、ポール・ラッシュ来日100周年だから今年だけ開催したというわけではありません。失敗は改め、新たなチャレンジャーも恐れず、前述した今回開催にあたっての思いを大切にしながら、未来に向かって開催を継続していく覚悟です。

まさにポール・ラッシュの生き様がそうであったように。
次年度の開催が決まりましたら、会員の皆様には、すぐにお伝えさせていただきますので、ご支援・ご協力、そしてご来場を心よりお願い申し上げます。

理事会記録

6月19日(金)・7月18日(金)
8月22日(金)・9月26日(金)
10月24日(金) 予定
11月21日(金) 予定

「VISION」文芸

アブラハム 野田 徹

ハロウィンのかぼちゃが笑う収穫祭
摘む時期を鹿と競いしブルーベリー
薪積んで暖炉ととのえ待つ季節

そのために生まれてきたような人だった人それぞれの長鳴がいて
桜桃忌墓碑に埋めたるさくらんぼ色とりどりに老いも若きも
「該当作」なければないで記事になる芥川・直木賞の不思議な力

満月を取ってくれろと泣く子あり 首を取つてと踊る子もあり
秋深し 隣は何をする人ぞ 何をしようと隣人愛せ
旅に病む芭蕉の終が枯野なら 主の始まりは荒野なりけり

オペ前にすべなく唱う主の祈り「アーメン」待たずに意識失せたり
一夜明けナース優しく問診す朝霧晴れて主に感謝
禁断の木の実を食らう夢を見た明日まで絶食もう一息

ポール・ラッシュ逝去記念日

墓地礼拝のお誘い

来る12月12日(金) ポール・ラッシュの東京の墓前での礼拝をいたします。

昨年よりBSAの年中行事として復活させた東京霊園(高尾)墓前での礼拝にぜひご参加ください。

予約不要 集合・11時半

食後解散予定14時半

計報

ルツ 名倉安江姉(92歳)
(賛助会員) (東京聖三一教会)
9月12日逝去
イグナシオ 古谷俊次兄(90歳)
(南町田支部会員) (真光教会)
10月8日逝去

編集後記

しかし、暑い夏でした。北海道でも40度、避暑地の呼び声高い軽井沢でも、清里でも暑い日が続いていました。ゴージャの出番が来たとか。ゴージャの鳴き声も遅く始まりました。一体これから先、どうなってしまうのでしょうか。風鈴や打ち水で涼をとるなどといった風情ある時代は無理だとしても、夕立が線状降水帯に代わり、土砂崩れや陥没事故に変わるのはいやです。(M記)

BSA 創立 100 周年記念切手・ 会員有料頒布のお知らせ

来たる日本BSA100周年(2027年)に向けた記念事業の一環として、今冬「BSA オリジナル記念切手」を限定制作発行し、会員に向けて有料頒布する予定です。BSA 会員活動の一助としてどうぞご利用ください。

①はがき用 85 円切手シート (85 円×10 枚)

予定価格1シート 1,500 円

額面デザイン: ポール・ラッシュ

②封書用 110 円切手シート (110 円×10 枚)

予定価格1シート 2,000 円

額面デザイン: BSA100 周年記念ロゴマーク

BSA 会員への頒布方法 (予定)

2025 年 11 月の BSA 定時総会資料発送時に、改めて「会員有料頒布のお知らせ」と「購入代金送金用の郵便振替用紙」を同封いたします。お問合せは、100 周年事業担当理事: 野田まで。